

ソイルクリート工法は、従来の枠断面を欠円状にすることにより、コスト縮減と景観性の向上に配慮した簡易吹付のり枠工です。



施工完了

容易な施工

複雑な型枠を使用しないため、地山の凹凸に沿った施工を容易にします。

高い安定性

枠が縦横に連続しているため、地山表面の剥落に対して抵抗力と安定性を持っています。



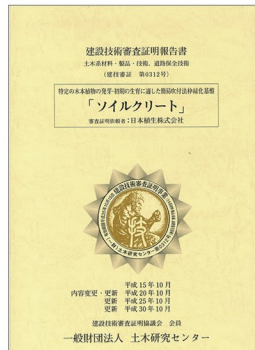
施工後5カ月

高精度

組立枠「ガッテンダー・ダイザー・テトライザー」の使用により、鉄筋を適切な位置に保持し、正確な断面形状を形成します。

景観性の向上

欠円状の枠が植生に覆われやすいため、目立たず修景に優れています。



(財)土木研究センターより技術審査証明書を取得

低コスト

素材が軽量で設置が容易なため、施工性・経済性に優れています。

高品質

短繊維補強材「NAF-6」を使用することにより、吹付モルタルの品質が向上できます。

のり枠の品質性能を格段に向上させるNAF-6

- ①のり枠の整形性が向上し、凹凸面に沿った施工が容易になります。
- ②モルタルのひび割れを抑制し、強固で安定したのり枠をつくれます。
- ③凍結・融解抵抗が向上します。

■標準示方配合(モルタル1m³当り)

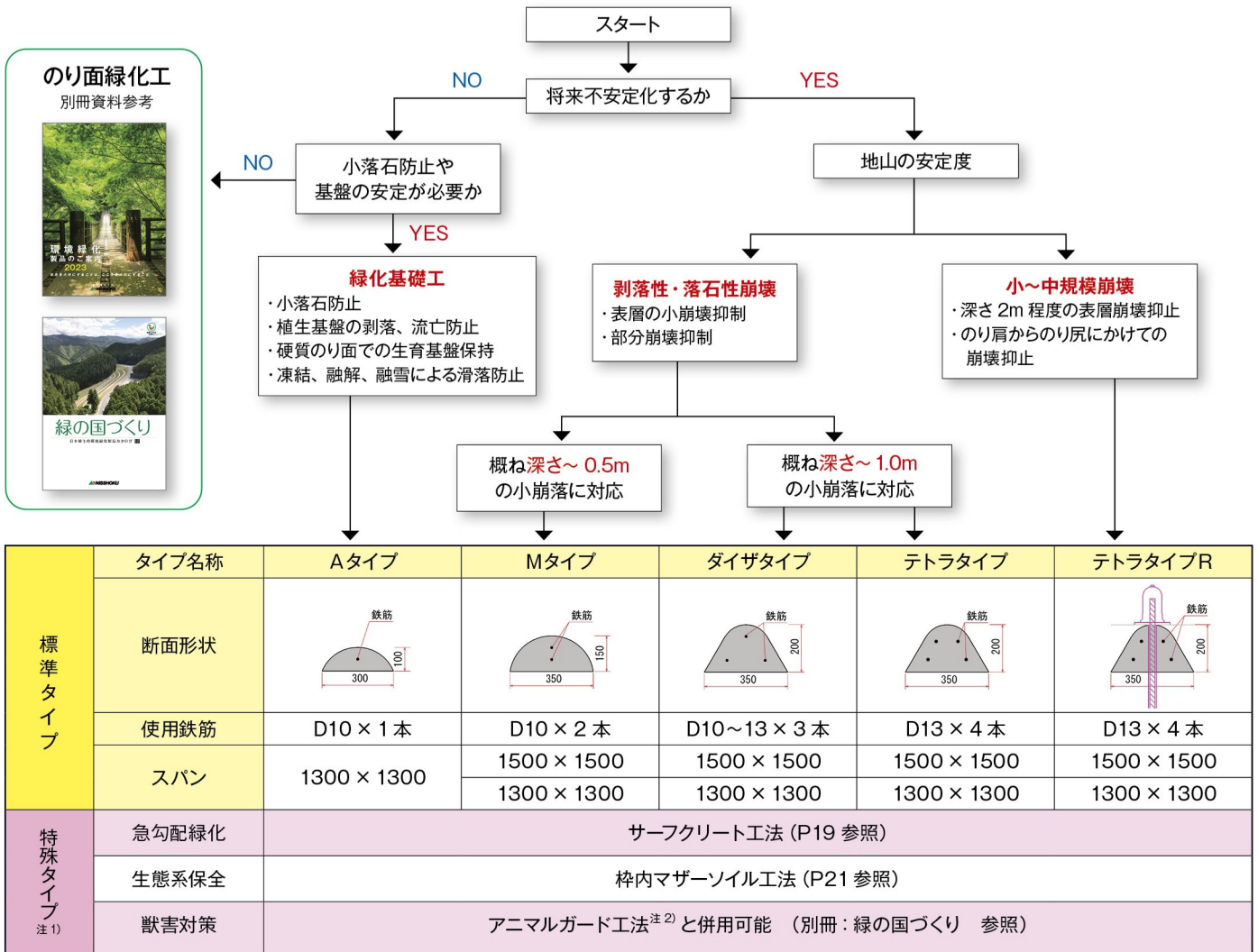
区分	材料	セメント	細骨材(砂)	NAF-6	水セメント比 W/C
配合		420kg	1.24m ³	1kg	55%以下



NAF-6

モルタルに添加するアラミドファイバーです。素材である「共重合パラ型アラミド繊維」は、耐熱性・耐酸性・耐アルカリ性に優れ、強度も非常に高いため、長期にわたりモルタルの品質を保ちます。

タイプ選定フロー図

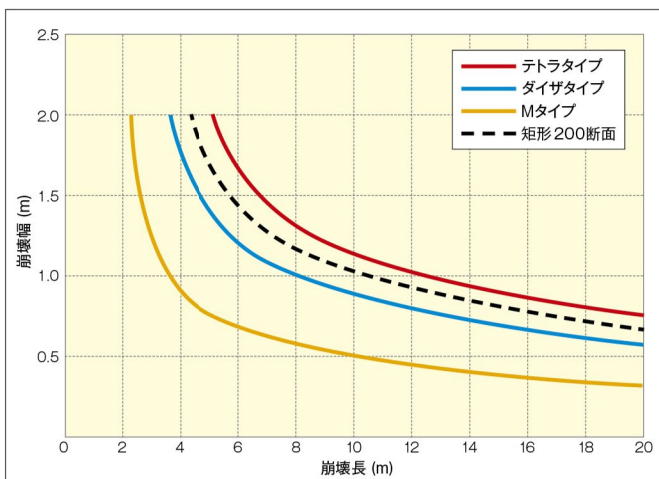


注1) 特殊タイプののり枠形状及びスパンは、標準タイプに準じます。 注2) アニマルガード工法は、サーフクリート工法とは併用できません。

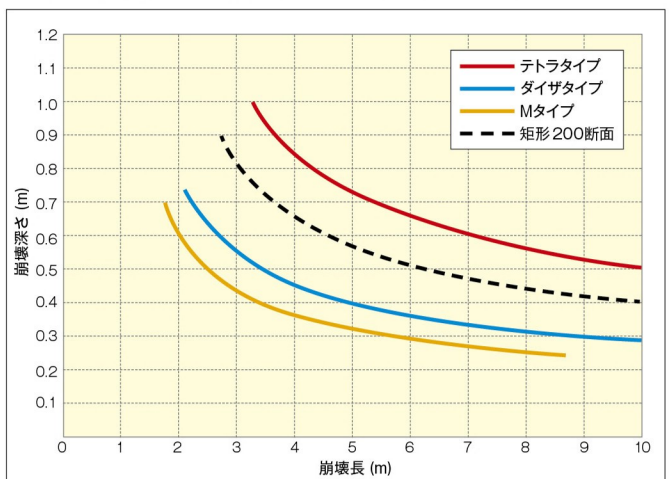
ノモグラムを用いることで、
簡単にタイプやスパンを選定することができます。

抑制規模のノモグラム参考例 (限界状態設計法)

■のり肩崩壊時 (勾配 1:1.0 スパン 1.5m)



■のり中間崩壊時 (勾配 1:1.0 スパン 1.5m)

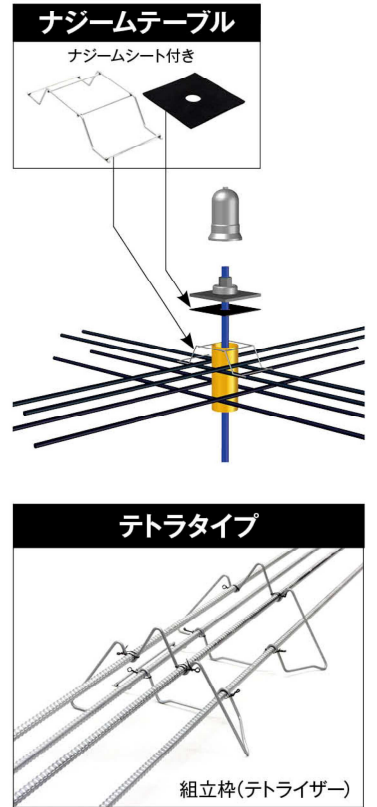


のり砕工

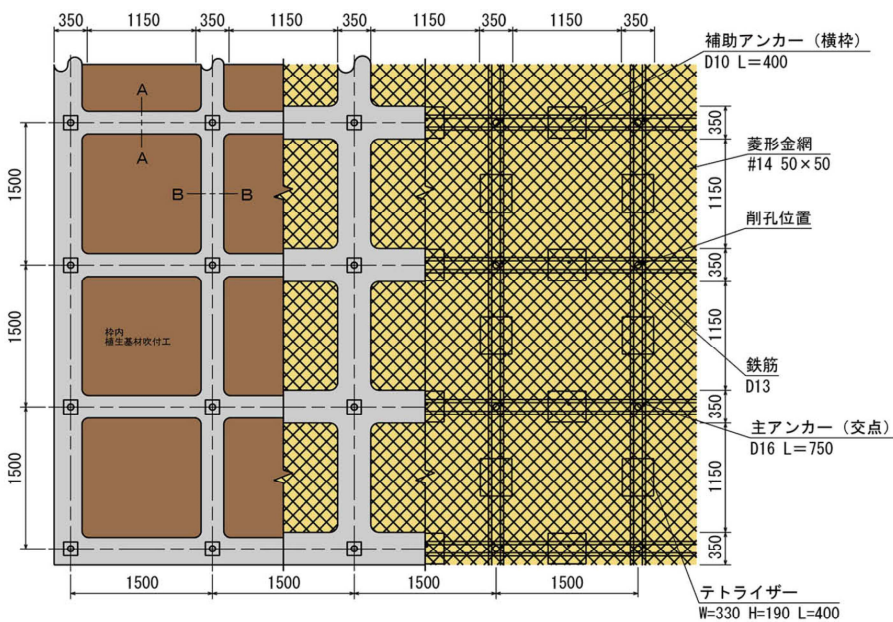
ソイルクリート工法 / テトラタイプR

シリーズ最強タイプ

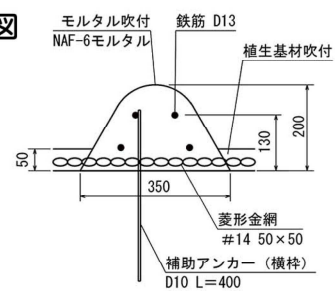
テトラタイプRは、鉄筋挿入工と併用するソイルクリート工法です。
テトラタイプの交点に「ナジームテーブル」を設置することにより、鉄筋挿入工との併用を可能としました。
地山表層を傷つせず、のり砕吹付後に鉄筋挿入工の施工が可能です。



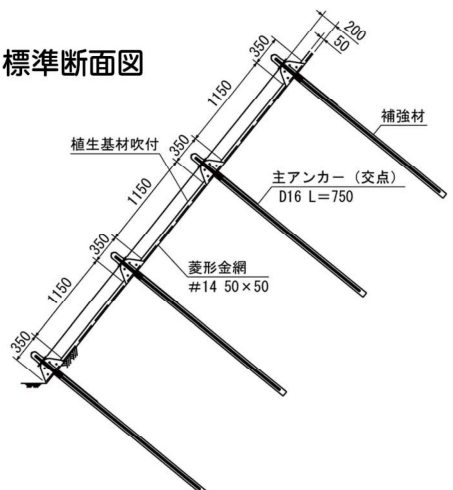
標準展開図



A-A 断面図

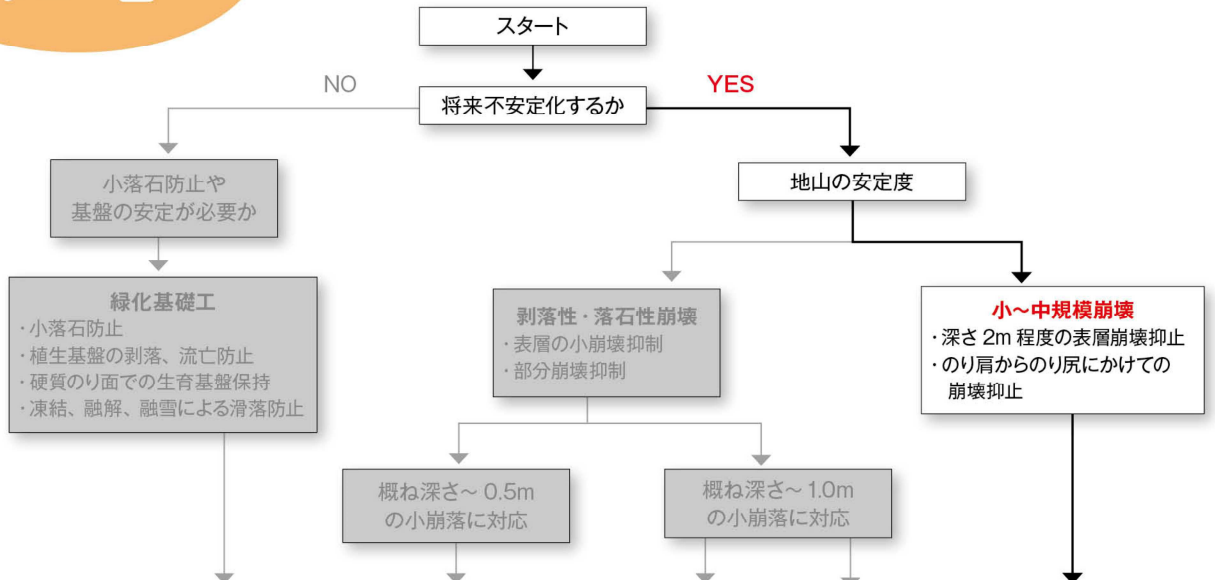


標準断面図



タイプ選定 フロー図

- ソイルクリート工法は、強固な緑化基礎工として、生育基盤の安定を図ります。
- 型枠を用いないため、地山の凹凸に沿いやすく施工性に優れます。
- 現場の状況に応じた、最適な施工タイプをご提案いたします。



標準タイプ	タイプ名称	Aタイプ	Mタイプ	ダイザタイプ	テトラタイプ	テトラタイプR
	断面形状					
使用鉄筋	D10 × 1本	D10 × 2本	D10～13 × 3本	D13 × 4本	D13 × 4本	
スパン	1300 × 1300	1500 × 1500 1300 × 1300	1500 × 1500 1300 × 1300	1500 × 1500 1300 × 1300	1500 × 1500 1300 × 1300	
特殊タイプ ^{注1)}	急勾配緑化	サーフクリート工法 (P19 参照)				
	生態系保全	枠内マザーソイル工法 (P21 参照)				
	獣害対策	アニマルガード工法 ^{注2)} と併用可能 (別冊: 緑の国づくり 参照)				

注 1) 特殊タイプののり枠形状及びスパンは、標準タイプに準じます。 注 2) アニマルガード工法は、サーフクリート工法とは併用できません。

施 工 事 例

